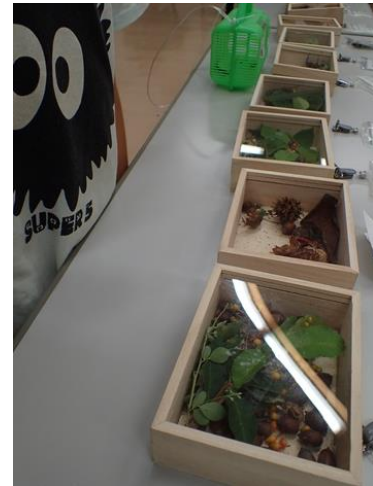


わくわくチャレンジ講座夏の雑木林かんさつ会報告

7月29日、つくばみらい市にて夏の雑木林かんさつ会を行いました。講師：森林インストラクター：岩谷美苗、寺嶋嘉春、高野満里子。午前は親子参加の森の宝さがし、午後は小学生高学年向けの森のめぐみは宝ものというテーマで行いました。午前中は樹木について室内で学んだあと、雑木林でいろいろ体験しながら、自分の「宝もの」を見つけて箱に入れ、

みんなで
見せあっ
て楽しみ
ました。カ
ブトムシ
やカミキ
リムシ、カ
ナブンな
ど案外虫



を宝物として入れる子が多く、みんなの宝物を見せてもらいました。

森から帰り、箱につめた宝物を並べ、みんなで眺めました。

カブトムシやヤママユの繭、ウワミズザクラの実などもあり、豊かな自然を見せ合いました。

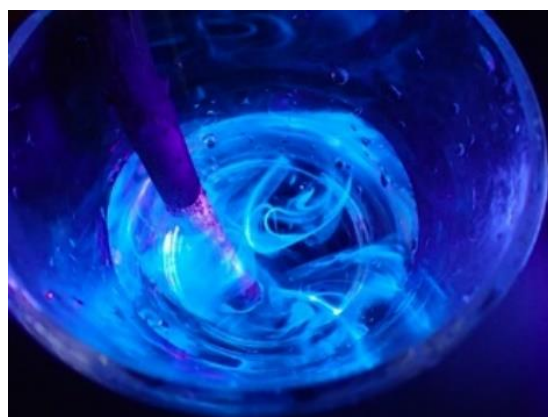


ウワミズザクラの実

午後は樹木について室内で学んだあと、「森の中が涼しいのはなぜか」、「森の中の生きものの観察や体験」により「森のめぐみ」について理解を深める少し高学年の内容です。意外と室内で話したことを覚えてくれていて、さすが高学年と思いました。途中で雨が降り出し、室内での活動に切り替えました。まさかツバキの草履が、「ビーサン」と呼ばれ人気になるとは思いませんでした。



☞ツチグリというキノコがたくさん出ていましたが、乾いていたので水でもどしてみました。



☞トチノキの枝を水につけて、青い蛍光物質が出るのを見ました。



☞葉が蒸散しているのを見るためにビニールをかけましたが、突然雨が降ってきてビショビショ。



☞急遽室内で、ツバキの草履を作ったら「僕もビーサン欲しい！」と大人気。シュロのバツタもつくりました。

